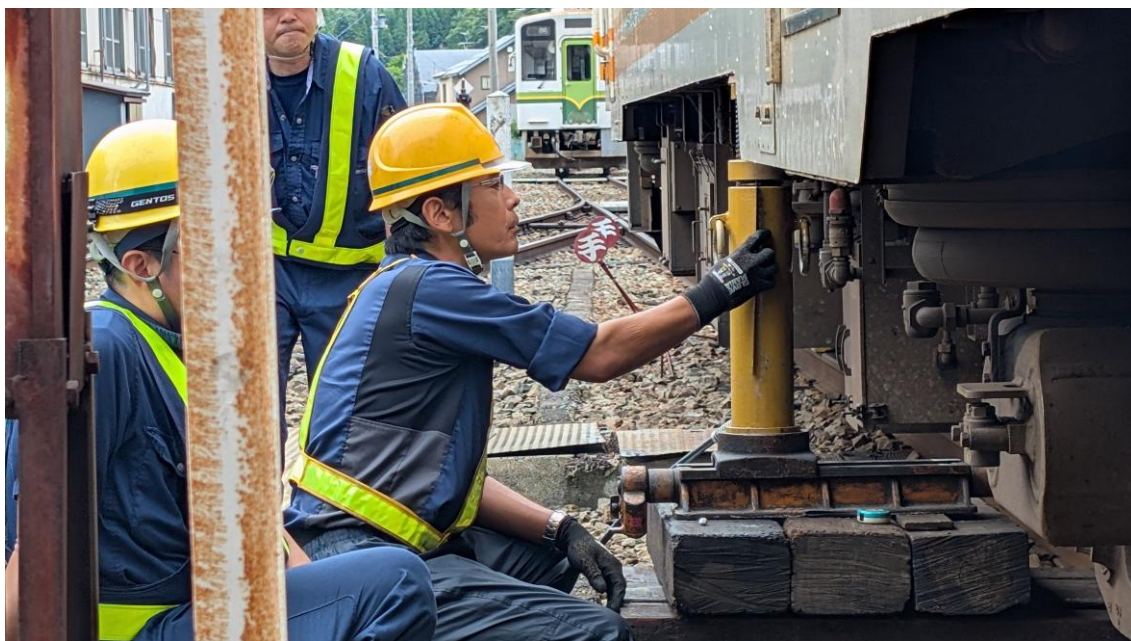


安全報告書

2026年度版



本報告書は、鉄道事業法に基づき弊社の輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆さまからの声を輸送の安全に役立てたくご意見をいただければ幸いです。

 会津鉄道株式会社

ご利用者はじめ地元の皆さまへ

日頃より会津鉄道をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。また、鉄道事業に対し、多大なるご理解とご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

当社は、開業以来、「安全」を経営の最重要課題とし、お客さまに信頼される鉄道を目指し、法令順守の徹底及び安全・安定輸送の確保に全社員一丸となって取り組んでおります。

当社を取り巻く環境は、施設・設備の老朽化、急速な人口減少に伴う鉄道利用者の減少、世界的な原油高の影響を受け軽油及び電気料金の高騰、さらには、資材・人件費の値上げにより更新工事費、修繕費が想定以上に上昇していることなど、様々な課題が顕在化してきております。

こうした状況を踏まえ会津地域における公共交通機関としての役割を果たしていくため「安全・安心でサステナブルな会社を目指して」を目標に取り組んで参ります。

また、鉄道事業再構築事業補助金を活用し老朽設備の更新を計画的に進めるとともに、鉄道利用者の利便性向上を図る事業を展開して参ります。

これからも、お客さまが安心してご利用いただけるよう更なる安全性の向上と快適な鉄道サービスを提供できるよう尽力して参りますので、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法第 19 条に基づき、弊社の輸送の安全確保のための取組みや、安全の実態について自らふり返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

皆さまの声を輸送の安全に取り入れるため、広くご意見をいただければ幸いです。

会津鉄道株式会社

代表取締役社長 佐藤 喜市

1.基本方針と安全目標

(1) 基本方針

基本方針の第一は、「鉄道の基本的使命である輸送の安全確保を完遂する」ことです。お客さまが安心してご利用いただけるよう安全に関する基本的な方針を次のように掲げ、全社員に周知・徹底しています。

◇安全基本方針◇

- 1 輸送の安全に関する法令および関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること
- 2 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること
- 3 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取扱いをすること
- 4 事故、災害等が発生したときは、人命救助を最優先として行動し、2次災害を防止する等速やかに安全適切な処置をとること
- 5 情報は漏れなく迅速、正確、確実に伝えること
- 6 常に問題意識を持ち、問題解決のための必要な改善を行なうよう努めること

(2) 安全目標

2025年度は、「事故及びインシデントに結びつくヒューマンエラー『ゼロ』」を目標に掲げ取り組みました。確認の疎漏による機器等の取り扱い誤り（ヒューマンエラー）等があったものの、お客さまが死傷するような大きな事故は発生していないことから、引き続き2026年度の安全目標は「事故及びインシデントに結びつくヒューマンエラー「ゼロ」」を掲げました。

【 2026年度の安全目標 】

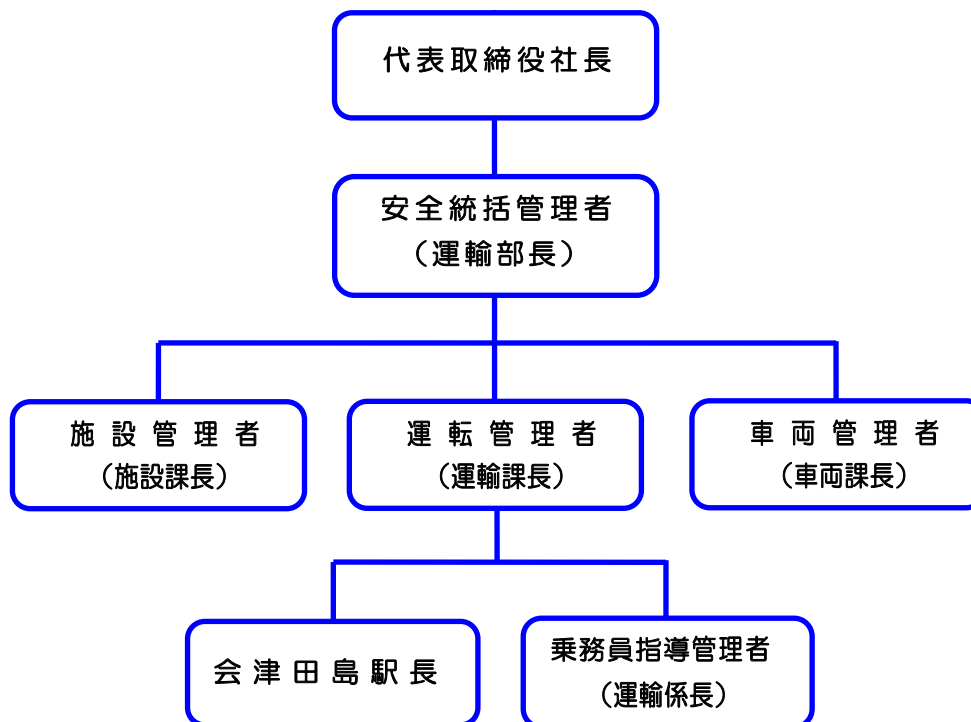
◇ 事故及びインシデントに結びつくヒューマンエラー「ゼロ」

- お客さまが死傷する重大事故を発生させない
- 事故に結びつく事故の兆候（インシデント）を発生させない

2.安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

【体制図】



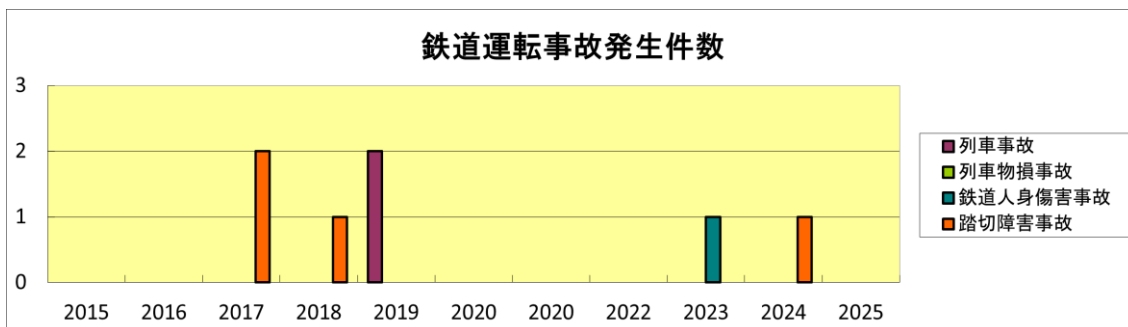
【各管理者等の役割】

役職	役割
代表取締役社長	輸送の安全の確保に関する最高責任者
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、列車の運行計画の設定、運転士及び車掌の資質の保持、他運転に関する業務を管理する
施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する業務を統括管理する
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する業務を統括管理する
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の指導・育成や資質の維持・向上に関する業務を行なう
会津田島駅長	運転管理者の指揮の下、駅運転取扱いに関する指導・育成や資質の維持・向上業務を行なう

3.2025年度鉄道運転事故等の発生状況

(1) 鉄道運転事故

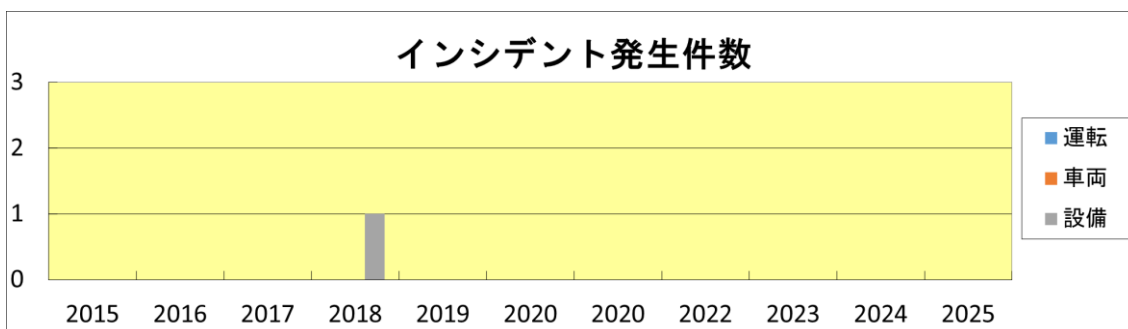
2025年度は、鉄道運転事故の発生はありませんでした。



- ※ 列車事故 : 列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故を指す
- ※ 列車物損事故 : 列車又は車両の運転により五百万円以上の物損を生じた事故
- ※ 鉄道人身障害事故 : 列車又は車両の運転により人の死傷を生じた事故
- ※ 踏切障害事故 : 踏切道において、列車または車両が道路を通行する人又は車両等と衝突し、又は接触した事故

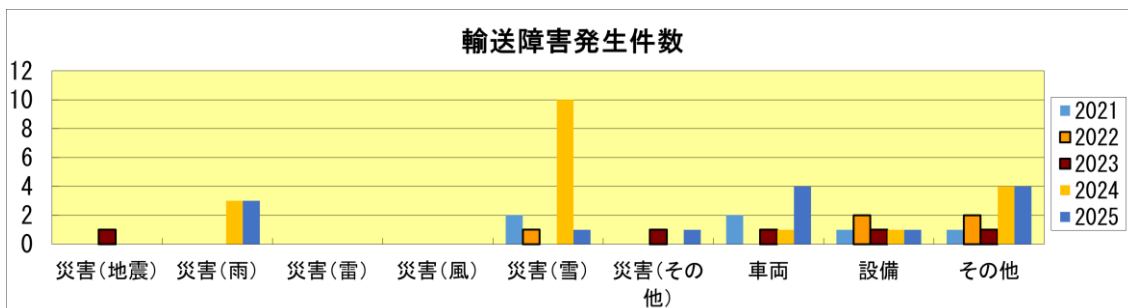
(2) インシデント（事故の兆候）

2025年度は、インシデントの発生はありませんでした。



(3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休を伴う災害や故障、部外原因等）

2025年度は、輸送障害が14件（対前年19件）発生しました。内容は、自然災害5件あり、車両故障4件、設備不良1件、その他とし倒木による列車遅延が4件発生しました。



(4) 行政指導等

2025年度は、東北運輸局保安監査がありましたが、指摘事項等はありませんでした。

4.輸送の安全確保のための取り組み

(1) 会津線無人駅等防犯連絡協力会の活動

平成22年に発足した「会津線無人駅等防犯連絡協力会」は、会津線沿線における無人駅およびその周辺施設の安全確保と犯罪防止を目的とした団体です。

地域住民、関係機関および会津鉄道が相互に連携し、防犯意識の向上と迅速な情報共有を図ることで、安心して利用できる鉄道環境の維持に努めています。

主な活動としては、無人駅の巡回や見守り活動、防犯に関する情報の共有、不審事案発生時の連絡体制の強化などを行っており、地域ぐるみで防犯体制の構築を推進しています。

(2) 安全重点施策

土木構造物等は全体的に老朽化傾向にあり設備の補修や改良等を計画的に進めています。

安全対策工事は、国の鉄道施設総合安全対策事業補助金および鉄道事業再構築事業などを活用し、計画的に実施しています。2025年度は、線路設備の更新及びホームスロープの新設、変電所設備等の更新を実施しました。2026年度も継続して取り組んでまいります。

◇ 2025年度に実施した主な安全施策工事

- ・レール交換 (ふるさと公園駅～養鱒公園駅間の290m)
(会津田島駅構内の14.4m)
- ・PCマクラギ交換 (ふるさと公園駅～養鱒公園間の801本)
(会津田島駅構内の199本)
- ・分岐マクラギ交換 (会津田島駅構内の42本)
- ・分岐器交換 (会津田島駅構内の38号ポイント)
- ・停車場設備 (湯野上温泉駅ホームスロープ改良)
(塔のへつり駅通路スロープ改良)
- ・変電所設備遠方制御装置更新
(西若松～会津高原尾瀬口間)

◇ 2026年度に予定している主な安全施策工事

- ・レール交換 (会津山村道場駅～七ヶ岳登山口駅間の695m)
- ・PCマクラギ交換 (会津山村道場駅～七ヶ岳登山口駅間の625本)
- ・橋マクラギ交換 (養鱒公園駅～会津長野駅間の195本)
- ・変電所受電設備更新 (七ヶ岳登山口変電所)
- ・停車場設備 (芦ノ牧温泉駅ホームスロープ改良)
(湯野上温泉駅ホーム上屋新設)

(3) 社員の資質向上

① 人材の育成

安全・安定輸送には、乗務員や技術系社員等の育成が欠かせません。このため、関係技術の資格取得や関係協会等で実施する運転及び技術関係の研修会・講習会に参加して、知識及び技術力の向上を図っています。

◇ 2025年度に取得した資格

	資格名	系統	合格者数
1	甲種内燃車運転免許	運輸	2

◇ 2025年度に受講した主な研修会・講習会

	研修名	主催	系統	受講者数
1	運転設備研修講座	(一社)日本鉄道運転協会	運輸	1
2	運転理論講座	(一社)日本鉄道運転協会	運輸	1
2	運転法規研修講座	(一社)日本鉄道運転協会	運輸	1
3	運転関係指導者講習会	(一社)日本鉄道運転協会	運輸	1
4	指導運転士研修	東北鉄道協会	運輸	1
5	地方鉄道の車両保守における技術継承研修会	日本鉄道車両機械技術協会	車両	2

② 他関係機関との合同訓練

運転関係係員の資質向上を図るため、計画的に訓練等を実施しています。2025年度は、毎月の指導訓練のほかに次の訓練を実施しています。

- ・ 6月 JR会津若松と合同で踏切事故発生時の併発事故防止訓練を実施
- ・ 7月 東武鉄道(株)・野岩鉄道(株)と合同で、信号故障時の取扱い訓練を実施
- ・ 9月 鉄道事故対応訓練(地震発生時の初期対応訓練、列車脱線復旧訓練)を実施
- ・ 10月 野岩鉄道(株)と相互直通運転に伴うハット取扱訓練を実施

《鉄道事故対応訓練》



《 JRとの併発事故防止訓練 》



(4) 踏切における事故防止

春と秋に行われる全国交通安全運動時に、沿線小学校に踏切事故防止の啓蒙活動を行うとともに、各列車における車内放送で同運動期間中であること、踏切を渡るときは一旦停止を行い左右の安全確認を行うこと等と呼びかけています。

また、降雪期は踏切内で自動車が立ち往生しやすいことから、降雪前の11月に踏切事故防止訓練会を実施しています。南会津警察署、南会津消防署、南会津町役場、自動車学校、沿線の運輸事業者の方々等に参加していただき、踏切の遮断桿に閉じ込められた時の脱出方法や、列車を緊急停止させる方法等を実際に体験することにより事故防止に役立てていただいております。



(5) ホームにおける旅客の転落防止

視覚障害者の方が、ホームから線路へ転落することを防ぐため、全駅のホームに点状ブロックの設置を進めています。また、視覚障害者の方が乗車される場合は、関係各所と連絡を取り合い、安全に乗車できるように対応しています。

(6) テロ対策

テロを未然に防止するため、始発前の車内の点検、各駅及び車両基地の巡回を行い、異常の有無を確認しています。また、福島県公共交通関係機関テロ防止連絡協議会が主催する「公共交通機関におけるテロ対策総合訓練」に参加するとともにレベルに応じた対応ができるように、「鉄道テロ対応マニュアル」を策定しています。

(7) 委託会社・協力会社との安全に関する取り組み

設備の点検・整備等を委託している会社や各種工事を施工している会社の安全協議会や大会に参加し、事故防止に係る教育や情報交換などを実施し事故防止を図っています。



(8) その他安全の取り組み

①お客様の信頼に応えるため

当社では、お客様に安心してご利用いただける鉄道サービスの提供を最も重要な使命と位置付けております。

日々の安全運行を確保するため、車両・設備の定期的な点検・整備を徹底するとともに、乗務員・駅係員に対する教育・訓練を継続的に実施しております。

また、異常時においても迅速かつ確に対応できる体制を整備し、情報提供の充実を図ることで、お客様にご不安をおかけしない運行管理に努めております。

さらに、地域の皆さまや関係機関と連携し、防犯・防災対策の強化やサービス向上に取り組むことで、より信頼される鉄道を目指しております。

今後とも、お客様の信頼にお応えし、安全・安心で快適な輸送サービスの提供に努めてまいります。



②安全総点検の実施

GW輸送、夏期輸送、年末年始輸送等の多客期には、社長及び各部課長が、現場を巡回して輸送の安全について確認しています。また、各期間中、異常時に素早く対応できるよう連絡体制の強化を図っています。

③ヒヤリハットの活用

社員等がヒヤリとしたことや危険を感じたことに対して適切に対応し、事故の発生を防止します。そのために社員とのコミュニケーションを大切にしています。

5.会津鉄道からのお願い

(1) 踏切の警報機が鳴り始めたら、踏切に入らないでください。

踏切が鳴り始めたら列車が接近しています。大変危険ですので、列車の通過を待つて安全を確かめてからお渡りください。

万が一、自動車が踏切内に閉じ込められたときは、躊躇することなく非常押しボタンを押してください。また自動車を前進させることにより遮断桿を押し上げて脱出してください。

(2) 線路のそばでは遊ばないでください。

列車は、急には止まりません。運転士が危ないと判断し緊急停止手配をとっても、止まるまで400m程度かかる場合があります。

危険ですので線路のそばでは絶対に遊ばないでください。もし、遊んでいるお子様を見かけましたら、ご注意くださいようお願いいたします。

6.連絡先

安全報告書のご感想、当社の安全への取組みに対するご意見は、下記にお願いいたします。

会津鉄道株式会社

〒965-0853 福島県会津若松市材木町一丁目3-20

TEL : 0242-28-5885 FAX : 0242-26-9730

HP : <http://www.aizutetsudo.jp/>